

話題の本

アイスランドからの警鐘

アウスゲイル・ジョウンソン著

漁業以外に主要産業がなかった人口32万人の貧しい島国アイスランドが世界に冠たるバンキング帝国に変貌した。小国のシンデレラ・ストーリーと注目されたが、2008年秋、金融崩壊の震源地として1週間で国が破綻した。同国最大の銀行の主任エコノミストが現場の証人として金融バブル崩壊から国家破綻に至る衝撃の過程を克明に記した本。今、同国では急速に平等主義が復活しているという。国民にとっての幸せとは何か——。考えさせる本だ。



新泉社
2730円

最強のビッグデータ戦略

ビル・フランク著

「クラウドの次はビッグデータ」と言われても、ピンとこない人があると思う。膨大な量のデータがビジネスにどう結び付くのか？ どんなに大きなデータも、それだけでは意味がない。企業が使いこなしてナンボだ。ビッグデータの構造を知り、効果的にフィルタリングして、従来データと併用するために何をすべきか。本書は丁寧に解説する。片仮名言葉も登場するが恐れることはない。最後まで読み通せば目が開くと思う。読みやすい入門書だ。



日経BP社
2100円

丸善丸の内本店 週間ランキング (1月3~9日)

- ①社長の思いが伝わる「ビジョン検定」のすすめ
佐藤信也、秋山進著、イーコミュニケーションズ編 日本能率協会マネジメントセンター 1575円
- ②スタンフォードの自分を変える教室
ケリー・マクゴニガル著 大和書房 1680円
- ③採用基準
伊賀泰代著 ダイアモンド社 1575円
- ④2020年の日本
谷川史郎著 東洋経済新報社 1680円
- ⑤ハーバード流宴会術
児玉敦仁著 大和書房 1470円
- ⑥ITロードマップ 2013年版
野村総合研究所著 東洋経済新報社 2310円
- ⑦大激変 2020年の住宅・不動産市場
船井総合研究所REBチーム著 朝日新聞出版 1785円
- ⑧大好きなことをやって生きよう！
本田健著 フォレスト出版 1365円
- ⑨グローバル経営戦略 2013
デロイト・トマソンコンサルティング監修 東洋経済新報社 1575円
- ⑩ITナビゲーター 2013年版
野村総合研究所著 東洋経済新報社 2310円

ビジネス

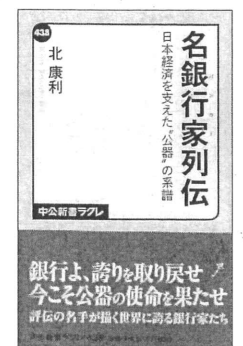
- ①できる大人のモノの言い方大全
話題の達人倶楽部編 青春出版社 1050円
- ②戦後史の正体 1945-2012
孫崎享著 創元社 1575円
- ③奇跡の音 8000Hz英語聴覚セラピー
篠原佳年、セニサック陽子著 きこ書房 1890円
- ④本気で鍛える英語
臼井俊雄著 ベレ出版 2310円
- ⑤これが物理学だ！
ウォルター・ルーウィン著 文藝春秋 1890円
- ⑥置かれた場所で咲きなさい
渡辺和子著 幻冬舎 1000円
- ⑦毎日の英文法
ジェームズ・M・バーダマン著 朝日新聞出版 1260円
- ⑧2050年の世界
英「エコノミスト」編集部著 文藝春秋 1838円
- ⑨137億年の物語
クリストファー・ロイド著 文藝春秋 3410円
- ⑩脳には妙なクセがある
池谷裕二著 扶桑社 1680円

ノンフィクション

名銀行家列伝

北 康利著

マネーという血流が滞れば企業は死に国家も死ぬのだから銀行は公器だと肝に銘じた銀行マンがかつてはいた。この生き様を描いた人物紹介コラム。日本資本主義の父、渋沢栄一や「銀行のことは安田に聞け」と言われた安田善次郎、三井銀行中興の祖、中上川彦次郎、白洲次郎に怖がられた池田成彬はもはや歴史の中の人たち。小林中、中山素平も分かるが、磯田一郎となると、その毀誉褒貶は微妙だ。元富士銀行マンの著者ならではの人选だろう。



中公新書ラクレ
840円

霸王と革命

杉山祐之著

「中国軍閥史一九一五―二八」の副題通り、袁世凱統治末期から蒋介石の中国統一までの軍閥割拠時代の中国を20世紀の三国志のように生き生きと描く。北洋の虎、段祺瑞や緑林から中国北半分の支配者となった張作霖、中国革命の途上で倒れた孫文らが縦横無尽に飛び回る。中国共産党の欽定史観以外の史料が次々発掘され、その成果を盛り込んだ学術的な書だが、中国史がこんなに面白いとは思ひもしなかった。豪傑たちの跳梁跋扈を楽しめる本だ。



白水社
3570円